



大成っ子

さいたま市立大成小学校
学校だより 5月号

令和7年4月30日(水)

「大宮」という地名は

校長 坂本 俊玄

令和7年度がスタートしてあっという間に1ヶ月が経ちました。先日は今年度最初の懇談会にご出席いただきましてありがとうございました。昨日までのゴールデンウィーク前半はどのようにお過ごしだったでしょうか。今年は、5月1日の「さいたま市民の日」をはさみ学校がある日と休みが交互になり、大きな連休は5月3日からの4連休となりました。短い連休ではありますが、休みの日を利用して新学期の疲れを癒すとともに、連休でしかできない様々な体験をするなど有意義な休みにしてほしいと思っています。

さて、5月1日は「さいたま市民の日」となります。昨年度の学校だより5月号では「大成」の地名の由来について触れさせていただきましたが、今回はもう少し大きく「大宮」についてお話したいと思います。

さてみなさん、大成小学校のある「大宮区」ですが、平成の大合併によりさいたま市が誕生し、政令市に移行した際に「大宮区」ができたことは昨年度の学校だよりでお話した通りです。合併前は「大宮区」「北区」「見沼区」「西区」の4区で一つの「大宮市」でした。実はこの「大宮」という地名は全国各地に存在します。市名でも茨城県に「常陸大宮市」があり、町村名（旧名も含めて）では全国各地に「大宮」という地名が存在します。そして、「大宮」という地名の地域に共通するのが、その地域に神社仏閣があるということです。「旧大宮市」も武蔵一宮の氷川神社の鳥居前町として栄えたのが由来で、記録に残っているものとしては1591年（天正19年）に宿場町になったというものがあります。ただ、その時点ですでにある程度栄えていたわけなので、かなり昔から人々が集まる集落だったようです。そして神社仏閣である「宮」を含めた「大きな」集落で地名が「大宮」となったのが主な由来のようです。そもそも氷川神社が第5代天皇の孝昭天皇の時代に創建されたといことなので、約2000年近い歴史がこの地域にはあることになります。

さて、話は変わりますが、4月17日から1年生の給食がスタートしました。小学校に入学してから最初の給食で、緊張している様子が伝わってきました。初日の献立はフラワーロール（パン）、ポテトのミートソースあえ、コーンサラダでした。当日は担任の先生やアシスタントの先生の話をよく聞いて、準備から片付けまで上手にできました。これからも学校に来る楽しみの一つとして、たくさん食べて元気に過ごしてほしいです。



新学期がスタートして1ヶ月が経ちますが、保護者の皆様や、地域の皆様が本校児童の安全・安心を支えてくださっている場面を多く見る事ができました。本当に感謝申し上げます。毎朝元気に「行ってきます」と家を出たお子様が、笑顔で「ただいま」が言えるよう全教職員で取り組んでまいりますので、引き続きのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。